

あかしびと 104号（クリスマス号）2021年12月発行

日本バプテスト同盟金沢文庫キリスト教会

☎236-0046 横浜市金沢区釜利谷西3-36-20 tel/fax 045-783-5475

（牧師）森島牧人・森島恵

（教会）church.kanazawabunko@gmail.com

（ホームページ）kanazawabunkochurch.sun.bindcloud.jp

### 「クリスマスの意味」

森島 牧人

今日、クリスマスを祝うのだ、と言っている人の中で、どれだけの人が、どれだけ神からの救いを求めていることでしょうか。また、救いがほしいと思う人でも、どんな救いがほしい、と思っているのでしょうか。そのことで、もし見当ちがいをする、イエス・キリストとは何も関係のない、クリスマスをすることになってしまうからです。

別な言い方をすれば、世の中が何となく暗いのは、何のためか、ということです。それは、不況のせいでしょうか、お金や物がなくなったためなのでしょうか。

そういうことのためなら、天使が、救い主が来たと言ってみても、何にもならないではありませんか。また、救い主が、わざわざ、馬小屋の中に生まれることも、いらないことではなかったであらう。

羊飼いたちは、天使のお告げに従って、ベツレヘムの馬小屋に行ってみたら、何もかも自分たちに語られたとおりであったので、神を崇め、また讃美しながら帰って行った、と書いてあります。

ここに書いてある「崇める」「讃美する」というのは、どういう意味でしょうか。崇める、という字は、ハレルヤ・コーラスのハレルヤという字と同じ字であります。ハレルヤ・コーラスを知っている人は、それは、普通の崇めるとはちがうことが分かりますね。この字は、時としては、愚かしいという意味があります。それは、思い上がった人間は愚かしい、という時に使うのです。だから、神を崇める時には、心からへりくだって、神をたたえまつということなのであります。

次に、讃美する、という字は、さらに、特別な意味があるのです。それは、怒りをなだめるという意味です。そこから、なだめてほめたたえる、という意味になったのであります。クリスマスの時に、神を讃美するというのに、神をなだめねばならない、と思っている人が、はたしているのでしょうか。しかし、そこに、ほんとうのクリスマスの意味があるのです。だからこそ、イザヤ53章の預言を読まなければいけないのです。

「彼はわれわれのとがのために傷つけられ、  
われわれの不義のために砕かれたのだ。  
彼はみずから懲らしめを受けて、  
われわれに平安を与え、  
その打たれた傷によって、  
われわれはいやされたのだ」〔イザヤ五三・五〕。

そうです。クリスマスにお生まれになった主イエスは、やがて、われわれ罪人のために、十字架にかかるお方なのです。それは、ヨハネ 3：16-17、ここにクリスマスの意味と、喜びがあるのです。

今年は、ご家族で本当のクリスマスを、教会でお迎えください。皆様方のご家庭の上に、神さまの御祝福が豊かにありますように、お祈りいたします。



## 目 次

「クリスマスの意味」	(牧師) 森島 牧人	p.1
「パンと牛乳の日」	白根 義輝	p.2
「祈りのこと：10年の祈りの軌跡」	羽入田 毅	p.4
「試練からの学び」	白井 豊子	p.5
「私はとんだ思い違い、勘違いをしていました」	犬塚 志朗	p.7
「今日も感謝いたします。」	西山 律子	p.9
「祈り」と「痛み」	石川 万奈美	p.9
「強さを下さる神様」	神学生 ラサンラアウン	p.10



「パンと牛乳の日」 2021年8月22日証し

白根 義輝

わたしの毎日の日課は、午前中は、草木の水やり、聖書の旧約と新約を2章ずつ読むこと、午後はお風呂掃除や散歩です。

狭い庭ですが、水やりには結構な量の水が必要です。庭には、屋根に降った雨を集めて貯水するホームダムがあり、250リットル入ります。週に2回ほど雨が降ればいいのですが、梅雨が明けてからは大変です。お風呂掃除を始める前に、バケツでホームダムに水を入れます。大き目のバケツを2つ持ち、6回から9回入れて満杯になります。

そんな様子を見て子供が、「お父さんは節約家だね。（本当はケチと言いたかったのかもしれません）」とか、「お父さんは水に対して、特別な何かがあるんだね。」と言いました。そこで、水を大切にしようになったきっかけを説明しました。皆さんには後ほど、その理由をお話いたします。

私は以前、横浜英和小学校に勤めていました。現在は、青山学院横浜英和小学校という校名に変わりました。青山学院と合併したり吸収された訳ではありませんが、三菱東京 UFG 銀行や太陽神戸銀行のような校名になってしまいました。

その小学校では、月に一度、「パンと牛乳の日」ということを 1988 年から行っています。私立ですが、給食があり、私は、美味しい給食を 40 年近く頂きました。パンと牛乳の日には、給食当番がパンと牛乳だけ机の上に配膳します。いつも楽しみにしている、美味しいおかずとデザートはありません。どこに行ってしまったのでしょうか？

みんなが我慢したおかず代とデザート代を、事務室と給食室の協力で、小学校に返金してもらいます。1 回のパンと牛乳の日で生み出されるお金は、約 72,000 円です。夏休みや冬休みがあるので、年間 10 回ほどです。72 万円になり、最初の 1 年ほどはユニセフに献金していました。

活動を続けているうちに、日本国際飢餓対策機構 Food for the Hungry FH の活動を知りました。そして、FH では里子制度を行っておりその活動を深く知るために、FH のワークキャンプに学校から派遣されて参加しました。日本キリスト教団蒔田教会の会員の先生と 2 名で加わりました。

タイの東北地方で 2 週間、その後、バングラディシュに行き 3 日間見学するプログラムです。それまでもタイは、友達や家族と遊びに何度か訪れました。いつもは南方面ですが、その時は北方面で目的も全然違います。参加者はリーダーの辻本牧師、神学生、看護師、大学生などで 15 名ほどでした。全員クリスチャンでしたので、毎朝、ヨハネによる福音書を一章を皆で輪読し、一日に一人、輪番で証しをしました。ワークキャンプというより、修養会の雰囲気でもまれた日々でした。

作業は、保育所の基礎作りと井戸掘りを、炎天下の中、一生懸命働きました。3 メートルほど掘り終わったとき、水が染み出てきたのを見てみんなで歓声を上げたものでした。コンクリート製のリングを入れ終わり、やっと井戸が完成しました。

村の人たちは雨水を大きな瓶に溜めて、飲み水や生活用水に使っていました。ワークキャンプ以来、日本での生活では気づくことができなかった水の大切さも学んだので、水に対する考えが変わり、大切にしようになりました。

宿舎は村の民家を 2 軒借りて、男女別々に生活しました。料理は村のおばちゃんに作っていただきました。仕事はハードでしたが、毎日大好きなタイ料理を食べられたことは大きな恵でした。

また、現地の人と交流したとき、「親戚や知人もいないのに、わざわざ日本から来て保育所や井戸を作ってもらい感謝している。」と言われました。自分たちの活動が村に住んでい

る人たちの役に立つことを実感できました。

さて、里子制度について簡単に紹介します。

一人につき毎月 4,000 円を援助します。里子の学用品や給食費など教育にかかわる費用が賄われます。そればかりでなく、家族のために肥料や種を購入するためにも使われます。家族の生活が不安定だと子供が学校に行くのが難しくなるためです。

FHで紹介されたタイやフィリピン、南米のペルーなどの里子を、各クラスで一人ずつ 12 人と児童会で 2 人担当し、クリスマスカードなどを送ります。里子からも近況報告などを記した手紙が届きます。

パンと牛乳の日を通して英和の子供たちは、自分たちがいかに恵まれた生活をしているかに気付いたり、小さい自分たちでもほかの人のために、遠い国の人たちのためにできることがあることを自覚したり、食べ物を大切に作る人に成長してほしいという狙いと祈りがあります。

私自身がFHのスタッフから学んだことを紹介して終わりたいと思います。

悪魔サタンは、常に、「あなた一人が捧げたところで役に立たないよ。何も変わらないよ。」と私たちに囁きます。

そこで、四つの福音書に記されている五つのパンと二匹の魚で群衆に食べ物を与える記事を思い出します。教会にある紙芝居では、一人の少年が自分のお弁当を捧げた話になっていますが、聖書には少年が捧げたとは書いてありません。

でも、大事なことは、誰が捧げたかではなく、イエス様によって祝福されたパンと魚を弟子たちが配ると、驚くべき結果になったということです。生活費すべてであるレプタ 2 枚を捧げられなくても、悪魔の囁きや誘惑に耳を傾けないで、イエス様が祝福し、用いてくださることを信じて、戴いている恵と感謝の心を具体的に捧げ続けていきたいと思います。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

「祈りのこと：10年の祈りの軌跡」

羽入田 毅

2012年12月23日のクリスマス礼拝が生まれて初めて教会の礼拝堂に入った時でした。それまでは「祈り」と言えばゴルフ場の一隅にある観音さま？にその日のメンバーが怪我をしないようにと祈るくらいでした。

そのクリスマスから続けて礼拝へ出席するようになりました。最初の「祈り」は“主の祈り”でした。文語体で「天にまします我らの父よ・・・汝のものなればなり」でこの「汝」がなんとも奇異に思えました。（汝：自分より目下の者を表わす二人称だからです。）

あるとき、林 竹治郎というクリスチャン画家の描いた「朝の祈り」に出会いました。1905年の作品です。ご存知の方も居られると思います。

お母さんと四人の幼い子供達が朝日の差し込む明るい部屋で丸いちゃぶ台を囲んでお祈りしている場面です。猫も一匹いますが祈っているふうはありません。

中でも一番のおさなごが母親の膝に手と顔を乗せて何かを祈っているようです。

時は移り、10年ほどの間に、ステファノの祈り、聖フランシスコの祈り、アウグスティヌスの祈り、キプリングの祈り、リンカーンの祈り、祈りの人バルナバのことなどに会い、私の祈りの内容が少しずつ変わってきました。それとともに、祈りの内容の種類が気になり始めました。特にこの頃は「願う」祈りが多くなり気になって御言葉に拠り所を見つけて拾い出しました。それは、

マルコ11章24節 だから言うておく。祈り求めるものは既に得られたと信じなさい。そうすればその通りになる

フィリピ4章6節 何事につけ、感謝をこめて祈りと願いを捧げ、求めているものを神に打ち明けなさい。

ヨハネ16章24節 願いなさい。そうすれば与えられ、あなたがたは喜びで満たされる。などです。

これらの御言葉に励まされ今はいっぱい「願い」のせいで祈りの時間が増えてしまいました。そんな中で、あの林 竹治郎の描いたおさなごの無垢の祈りこそ神が微笑んで聞いて下さるのではないかと思うようになりました。あのおさなごのような祈りが出来る日まで歩み続けたいと思います。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

「試練からの学び」

白井 豊子

私の好きな聖句に次の二つがあります。

コリント I、10:13 の試練と共にそれに耐えられるよう逃れる道をも備えてくださいます。

もう一つは伝道の書3:1 の、すべてのわざには時がある。

これまで生きてきた中で最大の試練は、思いがけない形での夫の喪失でした。この試練を通して二つの聖句は本当にそうだと、実感させられたのです。

かつての夫とは大学の恩師でもあった佐伯晴郎牧師の紹介で出会いました。夫はキリスト教出版の仕事をしていて、白根牧師の推薦でもありました。キリスト教に囲まれた人なら大丈夫と思いました。結婚したものの私の仕事の件で三年近くの別居生活となりました。

やっと神奈川県教員試験にパスし、共に暮らし始めた時は、年子二人を抱えての出発でした。私は次第に仕事と家庭との両立が難しくなり、夫との衝突が絶え間なくなりました。その拳句に夫は他に心移してしまっただけです。まるで夫との間を鉄の壁で遮られている

かの様でした。当時五歳の息子が「ママが笑った」と特記事項のように語ったのを思い出します。そんな中での結婚記念日に七歳の娘が夫の背に「ママが好き」と書いた紙を、私の背に「パパが好き」と書いた紙をはったのでした。何とか二人がうまくいくよう、子供は強く願っていたと思います。

しかし、ついに夫は戻らなくなり、喪失の苦しみに埋没する日々が続きました。私は苦しみのあまりキリスト教の先輩たちにすがりつきました。このように、母やキリスト教の先輩たちに助けられて、試練を逃れる道として、私は多くの助け人を与えられました。身近では母が家事や子育てをやってくれました。白根牧師はこわれたレコードの様に同じことを繰り返して語る、私の悩みを忍耐して聞いてくれました。白根先生はローマ4:18「望みえない時に望みを抱いて信じるのが信仰の道」と、よく語っておりました。生と死を考える会の平山正実医師はカウンセリングを喫茶店ルノワールで、してくれ、旧約のホセア書をひきあいに出されました。ホセアは不実な奥さんを忍耐して待った人であると伝えてくれました。また悩みながらも他者のために力をかしていくといいと語られ、自死の会の活動に参加させてくれました。子育て上の悩みを鈴木シスターに聞いてもらい、自分を裁くことは自分を神にしている事だと教えられ、神のゆるしの愛に自分を託して生き、楽しい波動を送れるようにと助言を頂きました。腹話術の才木先生、書の岡崎先生からも多くの励ましを頂きました。このようにキリスト者の先輩たちに助けられて、時の流れと共に試練を何とか越えていきました。

しかし一昨年長男が結婚するにあたり、戸籍謄本をとった事がきっかけで、思いがけず夫を失った当時の事がとめどなく思い起されて苦しみました。それはその事に向き合い、新たに整理するために必要な時だったと思います。ちょうど子育てがしっかり終わって、改めて自分自身の問題を見直す時期だったのかなと思います。すべてに時があるという聖句を確信するのです。

その年の暮れに次のような言葉が思い浮かびました。(無名兵士の祈りのリズムからの影響)

……人生をふり返って…… (2019.12.31)

自分の弱点を知るようにと

難しい出会いが与えられた

自分らしく生きるようにと

別れが与えられた

他者の苦難に心ずるようにと

病や様々な苦しみが与えられた

しかし、どんな試練でも乗り越えられる様にと

いつも助け手が与えられた

むだな事は何もないと伝えられているようだ

……祈り……

天の神様、どんな時も私の行く手を守り導いて下さり、こうして今がある恵みに感謝します。この恵みを隣人にお返しできるよう、力を与えてください。イエス・キリストの聖名のもとに祈ります。アーメン

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

「私はとんだ思い違い、勘違いをしていました」

犬塚 志朗

Fact(事実)と Truth(真実、真理)の違い

Fact (事実) とは証明が可能で客観的出来事

Truth(真実、真実)は主観的で証明は必ずしもできるとは限らない 主に宗教、哲学など

.....

信じられない Fact(事実)の例

一カ月 15 万円の車庫付き家賃を払って 3 年間独立生活をしたいと思います。

家賃に関してここで問題、条件：以下の A,B 二種類の家賃支払い方法から一つ選び、三年間解約できない、という条件です。

A：定額制家賃、毎月 1 カ月につき 15 万円。

B：倍額制家賃、毎月、前月の支払い額の 2 倍ずつ、とします。最初の 1 カ月目はたったの 1 円でよろしい。2 か月目はその倍の額 2 円、3 か月目は 4 円、4 か月目は 8 円、・・・、と倍額、倍額となり、一年の年度末つまり 12 か月後の家賃は 2,048 円となります。

皆さんは A、B どちらの家賃制度を選びますか？

うっかり B の制度を選ぶと大変なことになります。最終月の家賃の額は、な、なんと約 3 4 億円。これは卓上電卓で 30 秒ほどで計算できます。「知らなかった電卓の裏技・初級編」にネットで上げられています。その裏技とは計算式は  $2 \times \times 1$  と入力し、あとは「=キー」を 36 回押します。(かける×のキー)を二回、つまり  $\times \times$  と入力すると K と表示されます。

(K とは定数計算モードの意)

スマホの計算機能を使うと 1,2 分かかります。  $1 \text{円} \times 2 \times 2 \times 2 \times \dots$  と「 $\times 2$ 」を 36 回入力すると 3.4…億と表示されます。

-----  
40 年ほど前にラジオニッポン放送で高嶋秀武アナウンサーが相方の女性アナウンサーに語っているのをききました。

「新聞紙を二つ折りにしてたたみ、二つ折りにしたのをもう一度二つ折りにして、さらにそれを二つ折り…と 25 回折り重ねていくと富士山の高さになるんだってよお！信じられねえよなあ！」と。

そこで私は計算してみました。0.1 ミリの厚さの紙を二つに折り、その二つ折りにした紙を更に二つ折りにし、6 回繰り返すと 6.4 ミリの厚さになります。とりあえず話が先に進めら

れるように単位を km に変換しておきます。(0.1mm=0.0000001km) 2 倍××0.0000001km と入力あとは「=キー」を 25 回押すと 3.4…km (富士山の高さは 3,776m)、と表示されます。それをあと 25 回「=キー」を押し続けると地上から太陽の高さ (1 億 5 千万 km) 2 6 回目で遙かに太陽を超えてしまいます。とても信じられないけど計算機で事実であると証明されます。

.....

別の例です。中学生の頃考えました。20 桁の長さの算盤 (そろばん) の右端に 1 円なり 1 円なり 1 円なり…と 0.1 秒の速度でそろばんの玉を弾いていくと 1 秒後に二桁目に自動的に繰り上がって表示されます。100 秒後には三桁目、1000 秒後には四桁目に繰り上がってきます。20 桁までに繰り上がってくるのにどのくらい時間がかかるか? 答えは、信じられません。天地創造、地球誕生の時 (約 45 億年前?) からそろばんの玉を 1 円ずつ 0.1 秒の速度で 1 円なり 1 円なり 1 円なり…と弾いてきてもまだ 20 桁目に入ったところです。

計算の仕方:

1 秒×10 秒×60 秒×60 分×24 時間×365 日×45 億年、つまり

$1 \times 10 \times 60 \times 60 \times 24 \times 365 \times 4,500,000,000$

= 1,419,120,000,000,000 (19 桁)

とても信じられません。でも客観的に証明できるのです。

.....

これからあとは私が述べたい本番、Truth(真理、真実)の話にはいりませ

聖書は神の靈感によって書かれた。聖書のことば、奇蹟物語、主の復活、等々、不信仰で、信仰者を蔑 (さげす) みの眼で見る人がいます。でも私個人としては幼児の純真無垢の信仰から一步離れたとはいえ聖書のことばをまるごとそのままの出来事として信じていました。聖書物語は客観的に Fact(事実)と証明されていようといまいと、layman(俗人)の私には歴史的にも Fact (客観的) 事実と信じていました。その理由は

テモテ第二 3:16 聖書は、すべて神の靈感を受けて書かれたものであって……

聖書を書く人に神が誤りなく書き記すために 神の息吹 を吹きかけられました。

ペテロ第二 1:20,21 聖書の預言はすべて、自分勝手に解釈すべきでないことを、まず第一に知るべきである。なぜなら、預言は決して人間の意志から出たものではなく、人々が聖霊に感じ、神によって語ったものだからである。(口語訳聖書から抜粋)

ということで私は聖書物語、天地創造から始まって出エジプト記の紅海をモーセがイスラエル人を率いて紅海が二つに割れたのも、またイエス様や弟子たちの奇蹟物語も鵜呑みにして歴史的事実と信じ込んでいました。牧師先生から民話と歴史的事実を区別するように指示されました。

とんだ思い違い、勘違いをしていました。聖書は一字一句神の靈感によって書かれたことの解釈を間違えていたのです。Fact (客観的事実) として証明する必要はないのです。最近私にとって聖書物語は靈感を感じ、小説以上に感動させられています。後期高齢者になっても



不安を感じる事があるのは、キリスト者としてまだまだ未成熟であると心得ています。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

「今日も感謝いたします。」

西山 律子

賛美することが大好きな私は孫が幼い頃から、家に来た時、「私たちは神の民 その牧場の群れー。」と、よく賛美していました。今小学二年生の孫は小学校の歌もよく聞かせてくれますが、私たちは神の民ーとよく歌うようになりました。

恵牧師が「教会学校に来ませんか」と背中を押して下さったその翌週から続けて教会学校に来るようになりました。教会学校の献金の祈りや司式することも自分からやってみたいと言って、教わりながら頑張っています。

教会で孫とともに礼拝出来ることは、長い間祈り願い続けていたことでした。共に主を礼拝し賛美できるこの日の恵みを感謝いたします。主はいつも共にいて下さり 最善を成してくださいます。主の御計らいは なんとという恵みでしょうか。

私たち大人も子供も神様の愛で満たされて日々成長し続けています  
神様は天と地を造られ、空の星も太陽も月も配置なさった全能の主ですから私たちの周りに沢山の人間を配置して下さいました。ですから周りの人たちに感謝と関心をもち、どんな気持ちでどんな一日を送っているか。何かお手伝いできることがあるのか。自分で出来る小さい一歩を踏み出す事ができますように。

教会学校の一人ひとりの個性を認めて、その成長のために少しでも自分の賜物を生かす事ができますように。その子たちの両親に何か伝える事ができますように。主の手足となる事ができますように。

全く知らない人に伝道することは、とても難しいのですが、教会学校の子供たちやそのご両親に主の愛をもっと伝えることが出来れば、子供たちが成長して、主の愛を伝える人になってくれることでしょう。子供たちの成長を見ることは、とても素敵で日々ワクワクします。赤ちゃんだった子、幼くて会堂をバタバタと走り回っていた子たちが静かにみ言葉に聞き入り子供讃美歌を、歌っている。主の愛で輝いている。感謝と感激でいっぱいです。

小さな事ですが、主のご用に加わることは、なんとという恵みでしょうか。明日への希望と喜び、主の平安に満たされます。

主に感謝して、ハレルヤ！

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

## 「祈り」と「痛み」

石川 万奈美

私はある歳を越えてから、なぜか定期的に激痛を伴う異なる疾患に次々となってしまう様になりました。それは本当に自分の中では身体が破壊されていく様な痛みであり、またそれに付随する心の痛みでもあり、段々と塞ぎ込む事が多くなり出しました。

痛み、特にその最中にある時は現実の一瞬一時の痛みを止めて欲しい、失くして欲しい、神様、助けて下さいとそればかり祈ってしまう私がありました。然し、その悶絶の「痛み」とは確かに老化や様々な環境因子が交ざり合った結果なのかもしれませんが、痛みにより何を得たかと考えていく事、真逆の考え方が救ってくれるのではないかと思い始めました。前回の夏の「あかしびと」に森島牧人先生の文従字順な文章の中にはこう書かれています。私の大好きな個所です。

(前略) 私達は「災い」ではなく「幸い」を数えましょう。「愚痴」ではなく「感謝」をその唇に表しましょう。そうするとあの暗い「ため息」は喜びの「ため息」に変えられるのです。「失望」が「希望」に変わるのです。神の恵みは常に絶対値で表されるからです。もちろん祈りに上手下手などありません、と書かれています。

そうなのです。何回も体の不調ばかり起きるし、しょっちゅう、苦しかったり痛い思いばかりして体の弱い私が恥ずかしく情けない、治りが悪くて辛い、医療費ばかりかさんでいく等、あゝ言い出したらきりのない愚痴、愚かな口で失望していったのです。それを感謝に変えねばなりません。そう、この痛みが無ければバック一つ肩にかける大変さがわからなかった、そして、静かに眠る事が出来る有難さがわからなかった、首を下にしてバッグの中のお財布一つを取る事の不自由さがわからなかった。この痺れさえ無ければ手にあたる水をただ痛いとだけしか思えなかった。そして一番救われたのは寄り添って下さる方がいて、更に祈って下さる事に最大なる感謝の気持ちと共に次回は私が苦しんでおられる方に寄りそう番であると気持ちが変わられていった事でした。またこんな投稿文にも出会いました。クリスチャンではないはり灸治療院の先生が、痛みと向かい合った時に、神に祈るという事にたどりついたそうです。そして祈りの作法 8 つを彼なりにわかったそうです。その中の一つを紹介すると、①イエスの名によって祈ること、最終的に祈りをきいてくれるのはオヤジ(神)ですが、私達の様な下っ端が直談判なんてとんでもないのでアニキ(イエス様)が間に入ってくれるわけですね、とあります。これを読んだ時に私は「なるほど！」と今の若者に受け入れられやすい表現に笑ってしまいました。人生には何一つ無駄なことなど無いのだとこの傷んだ私の老体によって気づかされました。そうしてまた、これからも何か起こるであろう難事が今度は私に何を教えてくれるのだろうと密かに思う事にしました。またその時はこの続編を書いてみたいと思います。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

## 「強さを下さる神様」

神学生 ラサンラアウン

私はミャンマーのカチン民族という少数民族の出身です。ミャンマーの全人口は約 5400 万人ですが、ミャンマーには大きく分けて八つの民族があります。その中で一番多いのがビルマ族で、約 60%です。それぞれの民族をさらに少数民族に分けると合計 134 部族があります。ミャンマーは仏教国として知られていますが、カチン、カヤー、カリン、チンの四つの民族にはキリスト教信仰者が多くいます。それは 1878 年にアメリカンバプテストの宣教師がミャンマーに来て、キリスト教を伝えたからです。1981 年には私たちカチン民族は、ほぼ全員がキリスト教徒になりました。

皆さんもご存じのようにミャンマー国内では、ずっと紛争やクーデターが繰り返されています。それは私が生まれる前からのことです。そのため、日本に避難して来る人が増えました。今年の 2 月に軍事クーデターが起きて、現在でもミャンマー国内では殺戮が続き、日本への避難民が増え続けています。

私は 2012 年に日本に来ました。それは、先に日本に移住していた兄が突然亡くなったためでした。それまでは、日本に来るなんて夢にも思っていませんでした。ミャンマーでももちろんそうですが、日本に来てからも私は家族のために働き続けました。また日本に来てからは、兄が通っていたカチンの人たちの教会に通い始めました。それからバプテストの教えを深く知るようになり、今から五年前の 2016 年 5 月 1 日にバプテストを受けました。その後しばらくして、日本で生まれた同じカチン民族の子ども達が、どんどんと増え、その子どもたちに民族の言葉や文化、そしてバプテスト信仰を伝えるには、日本語で伝える必要があることに気がつきました。そこで、私は日本バプテスト神学校で学ぶことにしたのです。2017 年に日本バプテスト神学校に入学しましたが、言葉の壁にぶつかり、私は日本語を学び直すことにしました。日本語学校に 2 年間通っている間に、私は様々な問題に直面して、心が折れて、何度も日本語学校をやめたいと思うようになりました。それはミャンマーに残っている弟が、内戦に巻き込まれて亡くなったからでした。家族は私を気遣い教えてくれませんでした。友人がそっと教えてくれました。このまま日本で勉強を続けていいのか、帰国した方がいいのか、家族のためにもっと働いて仕送りをした方がいいのか、すごく悩みました。神学校へ行くこともやめようと思いました。

そうやって心が折れそうになった時に、いつも心の力になる聖書の言葉がありました。今でも、様々なことで心が弱くなってしまふことがあります。そういう時にも、この聖書箇所を読んで、神様が私を強くして下さり全てに立ち向かうようにして下さるのを感じています。

それは、兄の遺品を整理していた時に、兄の財布の中から出てきた紙切れに書かれていた聖書の御言葉でした。兄も日本で家族のために働き、苦勞をしながらも、この御言葉で力づけられていたのだと私は思いました。私もこの御言葉を心にしっかりと刻んでこれからの人

生を歩もうと思いました。それは、フィリピの信徒への手紙 4 章 13 節です。

「わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です。」

生きていくと言うことの中には、様々な苦労があると思います。学生であれば、進学や受験のことがあるでしょう。また、人間関係や自分の内面や家族の問題などもあるでしょう。しかし、そんな困難にぶつかった時にはこの聖書の御言葉を思い出して、神様から力を頂いて欲しいと思います。

「わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です。」

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

編集後記 (広報委員会 犬塚記)

聖名を賛美します。

「あかしびと 104 号」を発行するにあたり 10 月より準備を進めてきました。しかし突然担当者である私が病に倒れ、完成にあたり一番大切な 11 月に入院することになりました。そこで牧人牧師に相談し快く原稿をまとめ、レイアウト、字体、フォントの大きさを指示して下さいました。過去の「あかしびと」と様式が異なっていますが、今回のレイアウトに満足しています。

なお、私たちの教会ではコロナ禍の収束を祈りながら日頃の教会活動を続けてきました。その様子が、ホームページ：[kanazawabunkochurch,sun.bindcloud.jp](http://kanazawabunkochurch.sun.bindcloud.jp) に見事に描写されています。是非ご覧ください。

私たちの教会のためにお祈りいただき感謝いたします。クリスマスと新年を迎えるにあたり、皆様に神様の祝福が豊かにありますようお祈り申し上げます。在主